



〒108-0071

港区白金台

3-7-1

3443-5666

<https://shirokanedai-kg.minato-kyo.ed.jp/>



劇場後、隣のクラスの表現遊びのお話を楽しむ3歳児



互いの役の衣装を貸し借りして遊ぶ4歳児



『鬼ランド』で客を乗せて「おにに電車」を走らせる5歳児



やりたい！を大切にするからこそ育つ

園長 佐々木 勝世

2月7日に開催した『わくわく劇場』では、3、4歳児が普段園で楽しんでいる表現活動の一端を保護者、来賓の方々にご覧いただきました。皆様から感想を寄せていただきましたが、一人ひとりのその子らしさを大切にした本園の教育内容を改めて感じていただく機会となったようで、うれしいかぎりです。劇場終了後も本園らしい取組が続きましたので、ここで少しご紹介します。

3歳児は、学年のみんなでホールに集まって、同時に2つの表現遊びを楽しむ機会をつくりました。どちらの話に参加するかは、自分で選べるようにしました。すると、そら組の子どもたち全員が「おおきなかぶ」を、わかば組の子どもたち全員が「おふろにいれて」を選びました。お互いに、ずっと隣のクラスのお話もやってみたいと思っていたようです。遊びの中でも、道具を貸し借りして楽しむ姿が見られました。

4歳児は、劇場当日に演じた役とは違う役を選んで、クラスで再演したり、3歳児に衣装や道具を貸してあげて一緒に遊んだりしました。発表する日が終わっておしまいではなく、その後も表現を楽しむ姿から、行事のためにやらされていた活動ではなく、自分たちがやりたくて主体的に取り組んだ活動だったことが分かります。やらされる活動では、子どもは大人に言われたこと以上のことはしません。でも、やりたくてする活動では、子どもたちは自分で感じ、考え、行動し、伝え、共有し、何度も繰り返し、試し、挑戦や工夫をします。

5歳児は今まさに、「何がしたいか」を自分たちで考え、挑戦し、実現する生活をしています。『鬼ランド』では、それぞれのグループが工夫を凝らして、3、4歳児を笑顔にする遊びを提供しました。また、投げゴマや縄跳び、竹馬、鉄棒など、自分がやりたい、できるようになりたいと思ったことに繰り返し挑戦する姿も見られます。うまくいなくてもあきらめずに粘り強く取り組む姿や、一緒に取り組む仲間とコツを伝え合ったり応援し合ったりする姿は、**教育目標の「やさしい子、よく考える子、元気な子」そのもの**です。

3、4、5歳児ともに、この1年間で大きく成長しました。3月は進級や就学に向けて、しっかりと準備を進めていきます。

<3月の指導のねらい>

3歳児

- 自分のしたい遊びを十分に楽しみ、自分なりの思いを言葉や動きに表しながら、友達と関わって遊ぶ。
- 学級や学年の友達に親しみを持ち、一緒に活動する楽しさを感じる。
- 自分のことを自分でできるようになった喜びを感じ、もうすぐ進級することを楽しみにする。

4歳児

- 学年の友達とのつながりの中で、互いに考えを聞いたり受け止めたりしながら一緒に遊びや生活に取り組む喜びや充実感を感じる。
- 誕生会の司会やお別れ会の準備、当番の引き継ぎなどを通して、5歳児への感謝の気持ちをもったり、自分の成長を感じ進級への期待をもったりする。

5歳児

- 友達と互いに認め合い、心のつながりや学級の一体感を感じながら、残り少ない園生活を十分に楽しむ。
- 幼稚園の思い出を振り返ったり、3、4歳児と関わったりする中で自分の成長に喜びを感じ、就学への期待をもつ。
- 修了に向けて自覚を持ち、自信を高めながら、様々な活動に主体的に取り組む。